

要請番号 (JL54520A27)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウガンダ	H105 看護師	20~53歳のみ	グループ型	交替2代目	2年	・ 2020/2 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ジンジャ地域中核病院

3) 任地 (ジンジャ県ジンジャ) JICA事務所の所在地 (カンパラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ウガンダ東部ジンジャ県に位置し、ジンジャ県及び周辺7県を管轄する地域の拠点病院。外科、内科、小児科、産婦人科、眼科、歯科、エイズクリニック等を持つ総合病院で、病床数約440床、スタッフ数は約300名。2016年度予算約2.7億円。2016年度より実施予定のJICA技術協力プロジェクト「保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化(フェーズ2)」の対象病院となっており、地域中核病院として病院の質の向上が期待されている。2012年以降、スタッフ若干名が日本へ派遣され「院内感染」等のJICA研修を受講している。2018年12月まで長期の青年海外協力隊員(看護師)が派遣されていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国の看護師は、日本と比べ看護師業務範囲が広く、比較的豊富な医療行為の経験を有する。一方、衛生観念、医療安全管理等に課題を抱えており、医療事故や院内感染対策も十分ではない。2015年以来2名の看護師隊員が派遣され、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)活動の実施による「保健サービスの質向上」を目標とした取組が行われて、各病棟における理解も進み、一部病棟では5S活動に主体的に取り込み姿勢も見られる。しかし病院全体における医療の質や安全性、生産性の向上に繋がる業務改善までには至っておらず、看護業務を通じた人材育成、看護学生への指導が実施できる仕組み作り等が必要とされており、JICA海外協力隊の要請がなされた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

ウガンダでの看護師登録のために8週間の研修(※特記事項参照)を受講後、配属先にて下記の活動を行う。
看護業務や患者ケアを通し、

1. 学生や新人看護師に対し、実技指導支援及び助言・提案を行う。
2. 配属先同僚と協働し、看護学生や同僚に対し、医療事故や院内感染等の予防についての理解を促す。
3. 業務環境改善や臨床技術の向上のための研修実施や提案を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

一般的な医療器具、病院内のOA設備・事務用品等(共用)

4) 配属先同僚及び活動対象者

■配属先同僚:

- ・ 院長 1名(50代男性)
- ・ 事務長 1名(50代男性)
- ・ 5Sマネージャー1名(女性、50代)
- ・ 配属病棟の看護師(主に女性、20-40代)、

・各病棟スタッフ、看護学生、医師等

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(看護師)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：病院内での実務のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(15～30℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】

※ウガンダ着任後、事務所実施のオリエンテーション(1ヵ月)受講後、看護師登録のため、8週間の研修を受講。活動では身体への侵襲行為を含む医療行為が含まれる。赴任後、配属先と協議の上、所属病棟を決定する。